

平成29年度 第2回 木曾川水系流域委員会 現地視察会 【木曾川上流河川事務所管内】

平成29年6月2日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

- 現行河川整備計画では、長良川の遊水地等の整備を計画しているが、詳細については今後検討し、決定していくこととしている。

現行計画での書きぶり

第1章 流域及び河川の現状と課題

第2節 河川整備の現状と課題

第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する現状と課題

岐阜県が内ヶ谷ダムを建設中であり、将来的には一定の洪水調節が期待できるものの、東海環状自動車道の整備等に伴う地域開発が進むなか、本来、指定区間の霞堤部等において有していた**遊水機能による洪水調節機能を将来的にも確保するための早急かつ計画的な対処が必要**である。

第3章 河川の整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

1 水位低下

(3) 洪水調節機能の強化

② 遊水地等の整備

長良川において、戦後最大規模の洪水〔平成16年（2004）10月洪水〕を安全に流下させるため、**板取川合流点から下流の区間において遊水機能を活かした洪水調節**として基準地点忠節において戦後最大規模の洪水に対して**約200m³/sの流量低減を見込む遊水地等を整備**する。

なお、整備にあたっては、当該地域の開発状況と遊水地計画を総合的に検討し、**地域の振興に資するような開発プロジェクトと協調を図る**など岐阜県をはじめとする関係機関と十分な調整・連携を図るとともに、**既往の洪水に対する当該地域の浸水対策を併せて検討**する。
遊水地等の位置・諸元等の詳細については今後検討し決定していく。



河川名	基準地点	目標流量	洪水調節施設による洪水調節量(※)	河道整備流量(河道の整備で対応する流量)	備考
長良川	忠節	8,100m ³ /s	400m ³ /s	7,700m ³ /s	平成16年10月洪水対応

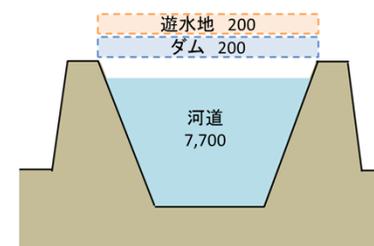
※洪水調節： 内ヶ谷ダム(H35年度完成予定)200m³/s
遊水地200m³/s

➡ 既定計画策定時点では、事業効率等の内部検討段階であったが、事業効率や地域の意向についての検討を進めてきた。

長良川の治水計画

河川整備計画として
＜当面の目標＞

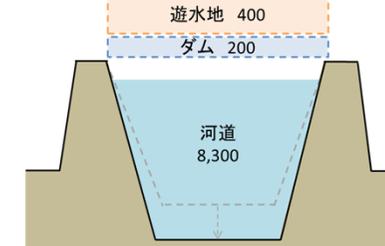
H16年10月洪水対応



単位：m³/s
(岐阜市忠節地点を基準)

河川整備基本方針として
＜将来的な目標＞

100年に一度の洪水対応



単位：m³/s
(岐阜市忠節地点を基準)

長良川遊水地に係る検討状況

H16洪水時の浸水箇所と候補箇所の抽出

- 平成16年の台風23号では、直轄管理区間上流(岐阜県管理区間)で広範囲の浸水被害が発生。
- H16洪水の浸水面積、堤防開口部の有無、土地の利用状況等を踏まえ候補箇所を抽出。

平成16年10月洪水(指定区間)

被害状況(直轄管理区間上流端~板取川合流点)

浸水面積: 461ha

被災家屋: 床上浸水218戸

床下浸水142戸

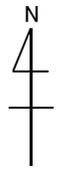
半壊家屋 8戸



浸水区域

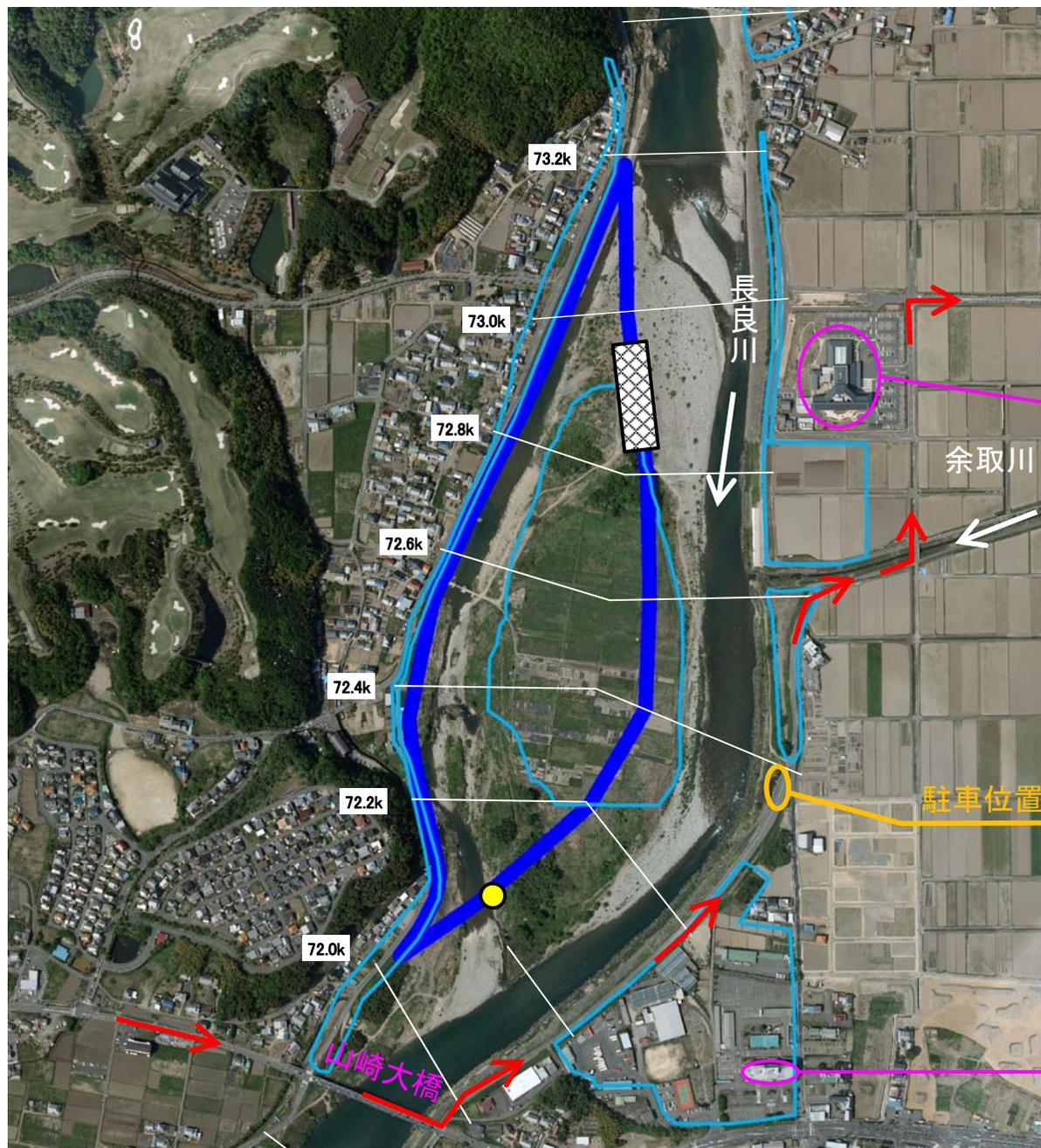


※引用) ・岐阜県ホームページ(写真、被害状況)
 ・長良川 床上浸水対策特別緊急事業パンフレット(岐阜県)(被害状況)
 ・平成16年台風23号記録誌~その被害と復旧の記録~(岐阜県)



面積 約19ha、容量 約55万m³

【視察(1)－2】遊水地候補地の状況 (横越地区)



- 遊水地候補地
- 越流堤
- 排水施設
- 浸水区域(H16年)
- 駐車位置
- 開口部
- バスルート

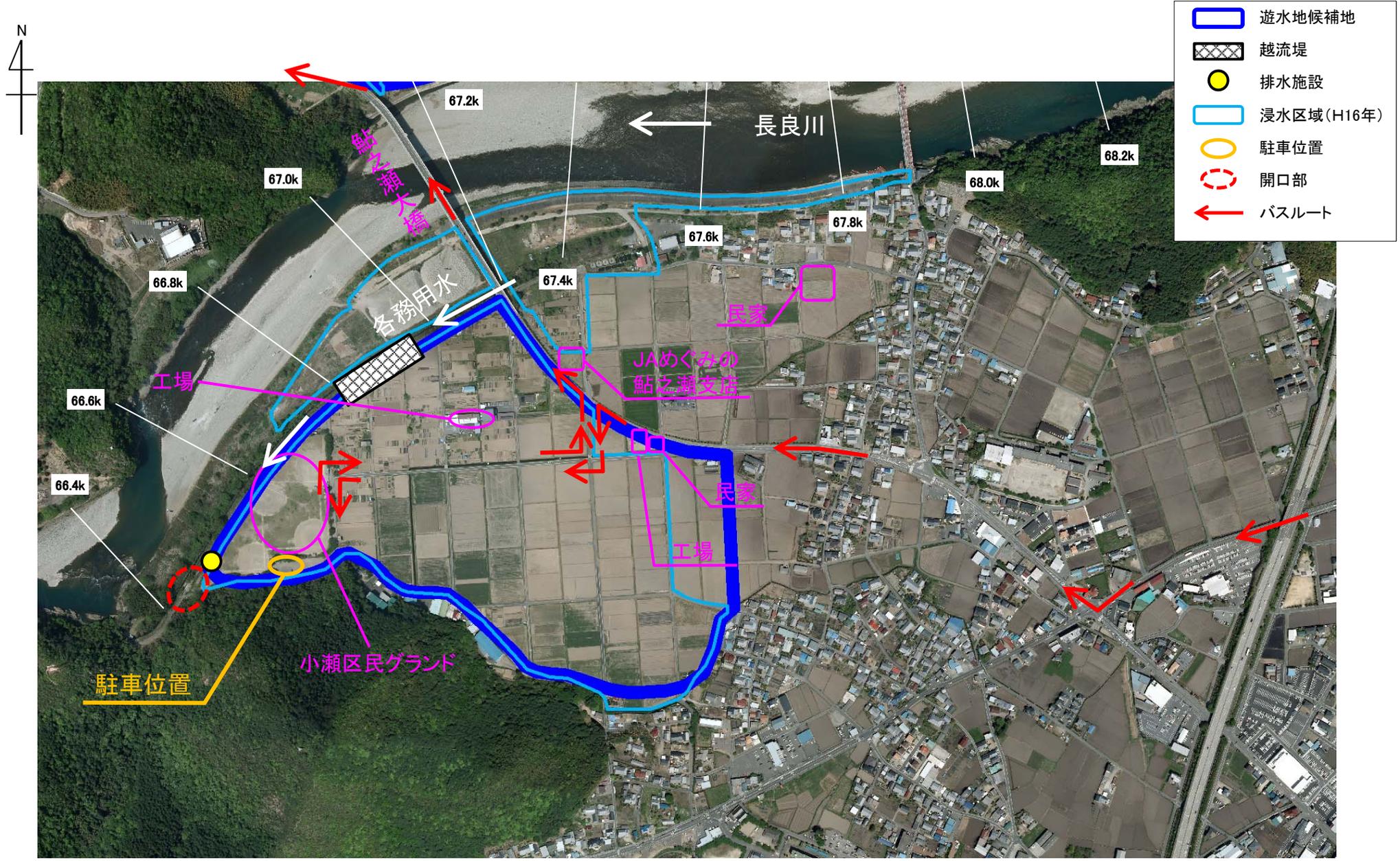
美濃市立美濃病院

駐車位置

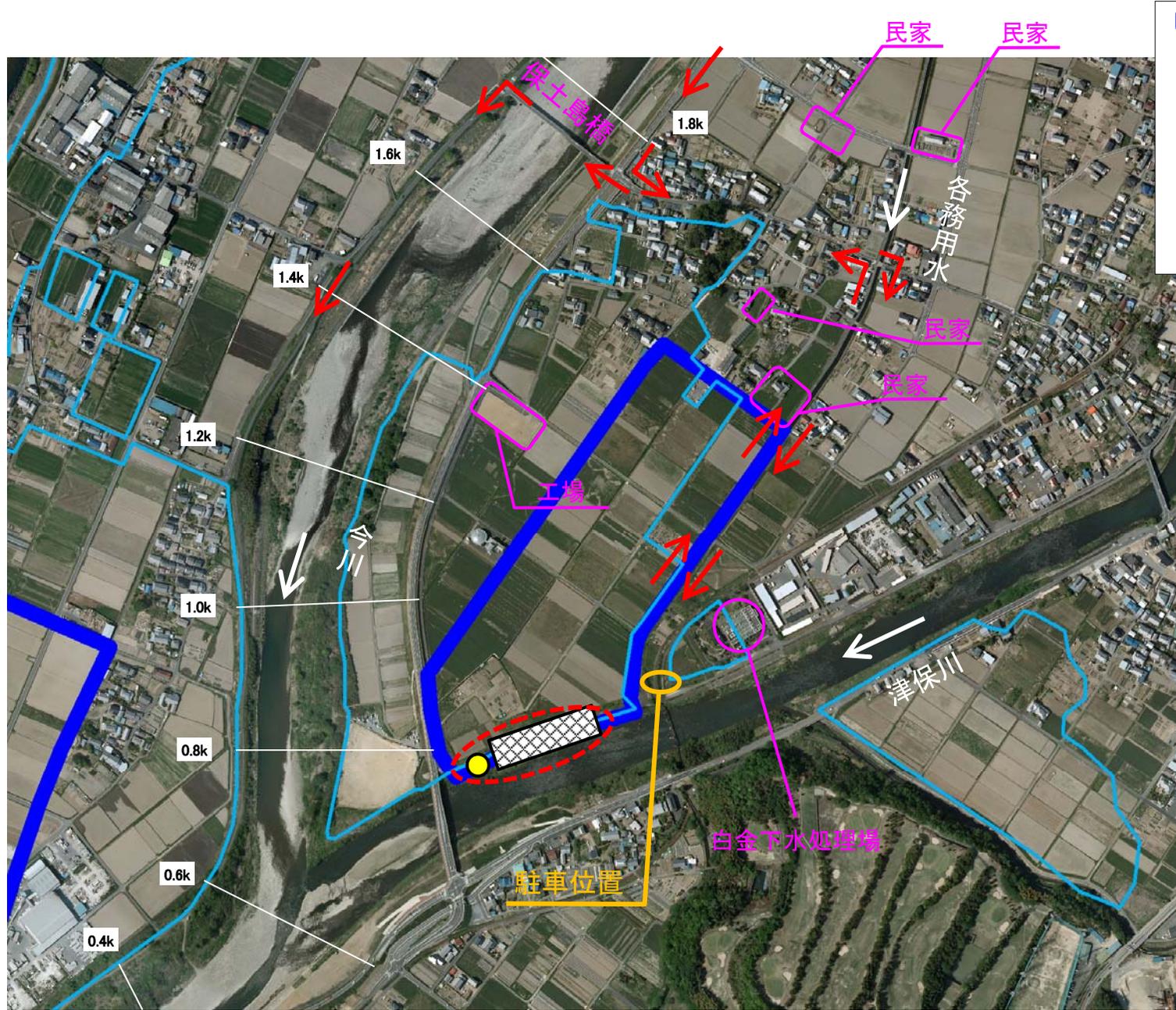
岐阜県中濃総合庁舎

面積 約19ha、容量 約90万m³

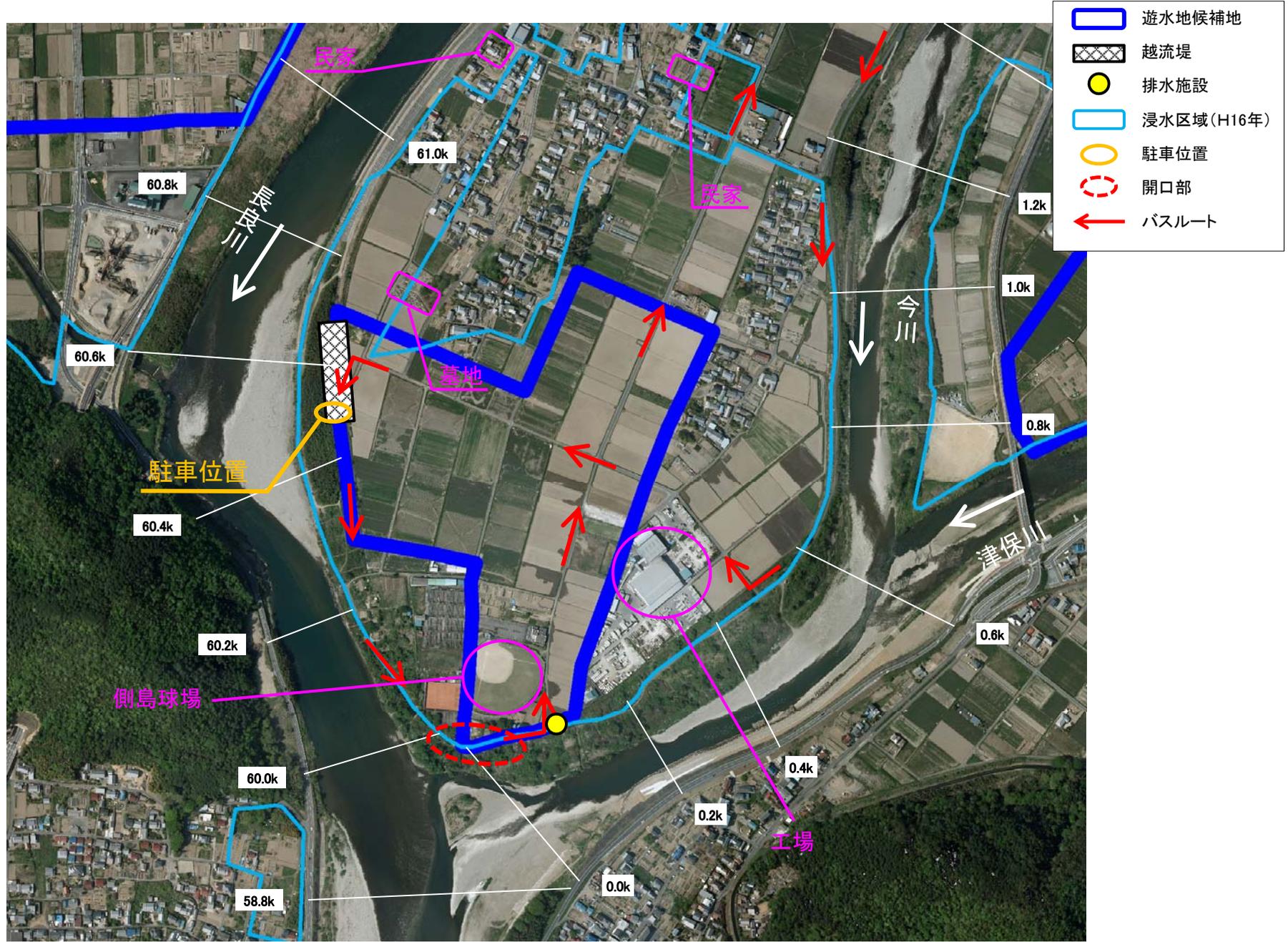
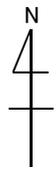
【視察(1)－3】遊水地候補地の状況 (小瀬地区)



面積 約26ha、容量 約70万m³



面積 約12ha、容量 約15万m³



面積 約19ha、容量 約40万m³

みぞぐち



面積 約40ha、容量 約85万m³